

5 地方債

(1) 一般会計の地方債

一般会計の地方債現在高は、合併後の平成16年度から平成24年度までに合併特例債を114億円、臨時財政対策債を94億円借り入れたことにより、平成25年度末現在高見込額は215億円となります。

表24のとおり地方債現在高見込額は、平成25年度末の215億円から16億円減少して、平成26年度末には199億円となる見込みです。市民1人あたりの残高にすると、431,063円となります。(人口は、H26.1.1現在人口46,275人)

合併特例債は、元利償還金の70%が普通交付税措置される制度として、他の地方債に比べ有利な起債です。

今年度は、大安駅駐車場整備事業や、北勢保育所造成事業、藤原山頂トイレ建築事業、小中学校の耐震化対策や大規模改修事業等の新市建設計画に基づくまちづくり推進のための事業に対して4億6千万円の借り入れを行います。

即効性のある防災、減災のための事業に充てることができる緊急防災・減災事業債は、コミュニティFM緊急放送システムの防災施設整備費や、消防団の消防車購入事業に対して7億8千万円の借り入れを行います。

財源不足を補う臨時財政対策債は、市税収入等の状況や財政見通しを考慮しながら借り入れを行います。

平成26年度は元金交付金が交付されたことにより一時的に合併特例債の借入残高は減少しましたが、東日本大震災の影響で合併特例債の活用期間が平成26年度から平成30年度まで5年間延長されたことにより、合併特例債の借入残高は今後増加していくことが予想されます。そのため、中長期的な財政見通しの下で償還方法等も考慮していき、平成26年度も昨年度に引き続き、平成25年度借り入れ分の起債を2年間で短期償還し、早期に財源を確保するとともに、将来負担の軽減を行っていきます。

一般会計地方債現在高の推移は、図38をご覧ください。

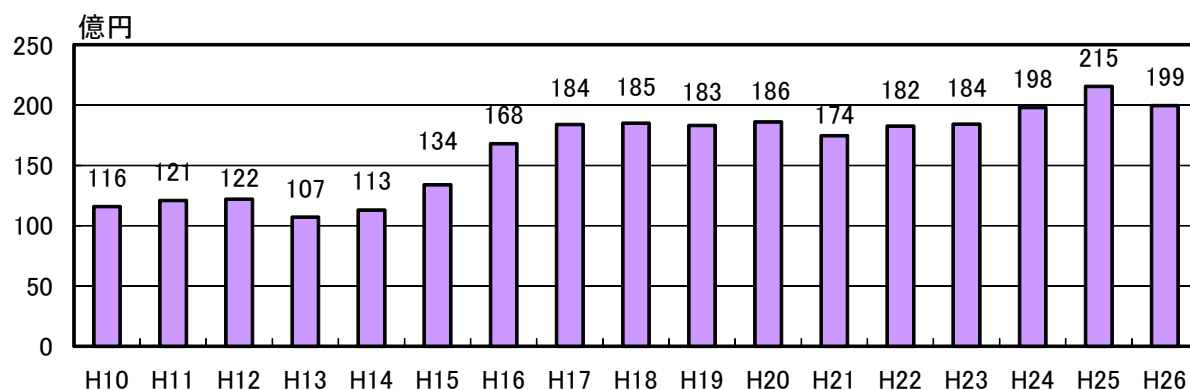
表24 一般会計地方債の状況

(単位：千円)

区分	平成25年度末 現在高見込額	平成26年度中増減見込		平成26年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
1 普通債	10,111,085	1,244,300	3,552,411	7,802,974
うち合併特例債	7,625,936	464,800	3,038,714	5,052,022
2 災害復旧債	185,315	0	40,942	144,373
3 その他	11,252,148	1,400,000	652,041	12,000,107
合計	21,548,548	2,644,300	4,245,394	19,947,454

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図38 一般会計地方債現在高の推移



注) 平成24年度までは実績、平成25・26年度は決算見込みです。

(2) 特別会計の地方債

特別会計の地方債現在高は、表 25 のとおり平成 26 年度末で、農業公園事業が 2 億円、農業集落排水事業が 13 億円、下水道事業が 113 億円となります。市民 1 人あたりの残高にすると、275,734 円となります。(人口は、H26.1.1 現在人口 46,275 人)

農業公園事業は、辺地対策事業債による借入れを予定しています。辺地対策事業債は起債充当率 100%、元利償還金の 80%が普通交付税措置される他の地方債に比べ有利な起債で、今年度については 1 億 2 千万円の借入れを行います。

農業集落排水事業は、平成 24 年度策定した農業集落排水機能強化事業計画に基づき、国の支援を受けて行う機能強化対策事業に対して 3 千万円の借入れを行います。

下水道事業は、建設改良がほぼ完了に近づき借入額が減少しているため、借入現在高は徐々に減少していきます。今年度は国の支援を受けて行う災害用仮設マンホールトイレの設置事業や、農集統合に向けての実施設計、県の北勢沿岸流域下水道事業に対する負担金に対して 4 千万円の借入れを行います。

特別会計地方債現在高の推移は、図 39 をご覧ください。

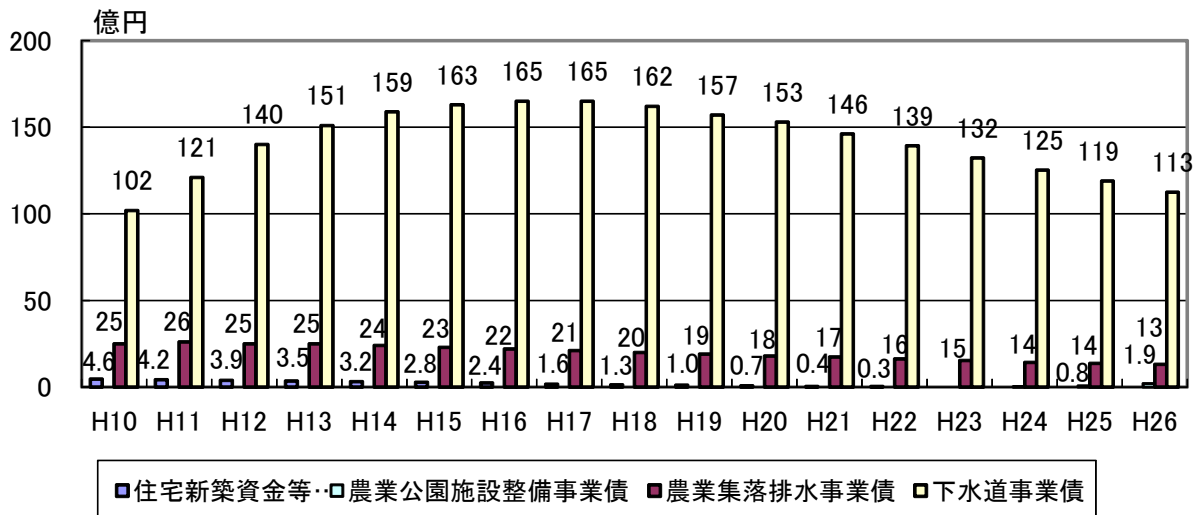
表 25 特別会計地方債の状況

(単位：千円)

区分	平成 25 年度末 現在高見込額	平成 26 年度中増減見込		平成 26 年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
農業公園事業	78,700	117,000	1,401	194,299
農業集落排水事業	1,374,880	33,400	93,924	1,314,356
下水道事業	11,891,267	38,900	679,250	11,250,917
合計	13,344,847	189,300	774,575	12,759,572

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図 39 特別会計地方債現在高の推移



注) 平成 24 年度までは実績、平成 25・26 年度は決算見込みです。

(3) 企業会計の地方債

企業会計の地方債現在高は、表 26 のとおり、平成 25 年度末の 42 億円から 2 億円減少して、平成 26 年度末で 40 億円となります。市民 1 人あたりの残高にすると、86,517 円となります。(人口は、H26. 1. 1 現在人口 46,275 人)

水道整備事業は、ほぼ完了に近づきましたので、借入は減少し借入現在高のピークは過ぎましたが、安心、快適な給水の確保をするうえでの水道水質管理の充実を図るため、簡易水道統合整備事業に対して 1 億 2 千万円の借入れを行います。

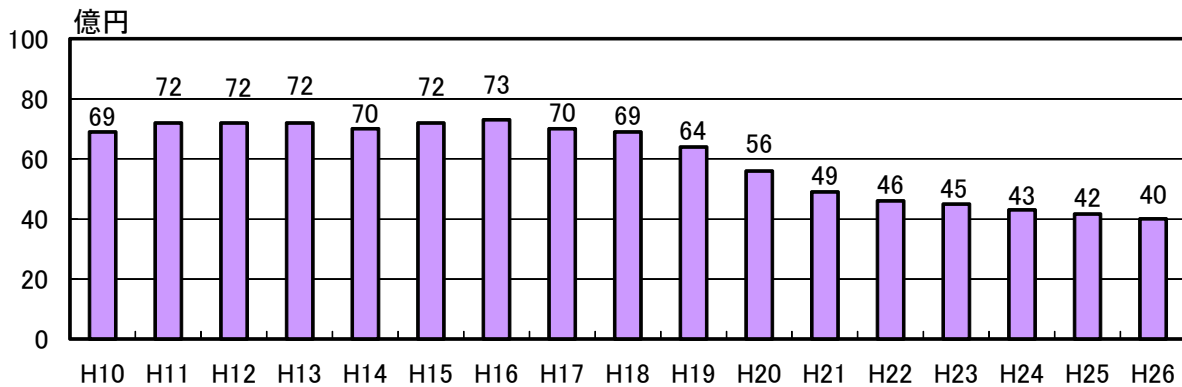
企業会計地方債現在高の推移は、図 40 をご覧ください。

表 26 企業会計地方債の状況

(単位：千円)

区 分	平成 2 5 年度末 現在高見込額	平成 2 6 年度中増減見込		平成 2 6 年度末 現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額	
水 道 事 業	4,164,155	120,000	280,581	4,003,574

図 40 企業会計地方債現在高の推移



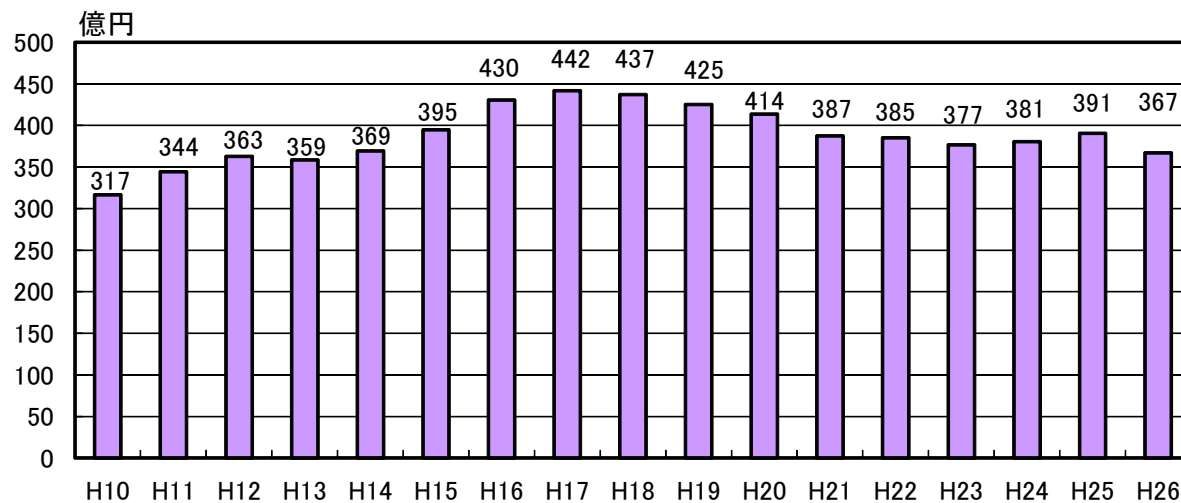
注) 平成 24 年度までは実績、平成 25・26 年度は決算見込みです。

(4) 全会計の地方債

全会計の地方債現在高は、平成 25 年度末の 391 億円から 24 億円減少して、平成 26 年度末で 367 億円となります。市民 1 人当たりの残高にすると、793,314 円となります。(人口は、H26. 1. 1 現在人口 46,275 人)

全会計地方債現在高の推移は、図 41 をご覧ください。

図41 全会計地方債現在高の推移



注) 平成24年度までは実績、平成25・26年度は決算見込みです。